

准看護科カリキュラム

教育内容	科目	時間数	小計	
基礎分野	論理的思考の基盤	35	70	
	人間と生活・社会	35		
専門基礎分野	人体の仕組みと働き	105	350	
	栄養	35		
	薬理	70		
	疾病の成り立ち	105		
	保健医療福祉のしくみ 看護と法律	35		
専門分野	基礎看護	看護概論	70	735
		基礎看護技術	245	
		臨床看護概論	70	
	成人看護	210		
	老年看護			
	母子看護	70		
	精神看護	70		
	臨地実習	基礎看護	210	735
		成人看護	385	
		老年看護		
母子看護		70		
精神看護		70		
総計		1,890		

履修内容

[基礎分野]

科目	時間	ねらい
論理的思考の基盤	35	コミュニケーションの基礎となる読解力及び、表現力を養う
人間と生活・社会	35	保健・医療・福祉を取り巻く社会の仕組みを知るための基礎的能力を養う 倫理的な視点や尊厳の保持について学び人間を生活者として理解する 情報通信技術の基礎的知識や情報管理を学ぶ

[専門基礎分野]

科目	時間	ねらい
人体の仕組みと働き	105	人体の構造と機能について、生活行動の観点から理解する
栄養	35	健康的な生活を営む上で必要な栄養について消化・吸収について疾病と食事との かかわりなどを学ぶ
薬理	70	薬に関する基礎知識や身体への影響・効果に及ぼす因子について理解する 与薬に伴う危険性について安全管理に基づいた行動がとれる
疾病の成立ち	105	疾病の成り立ちと回復を理解するのに必要な薬物、感染症、栄養に加え、感染と 予防について理解するための基礎的知識を学ぶ
保健医療と福祉の仕組み 看護と法律	35	准看護師としての役割と責任を果たすために、保健医療福祉の仕組みを理解し、 かつ看護にかかる法制度と結び付けて学ぶ

[専門分野]

科目	時間	ねらい
基礎看護 看護概論 基礎看護技術 臨床看護概論	385 (70) (245) (70)	看護の基礎となる「看護」及び「環境」「健康」「人間」の概念 生活者としての対象の理解、准看護師の役割と機能、看護における倫理の他、在宅などの多様な場における療養生活や基礎的な災害看護の看護について学ぶ また患者等の心理を理解し信頼関係を深めることができるコミュニケーション 技術を身につける 根拠を理解した上で自立・自律して対象の状態に応じた看護技術を安全安楽に提供することを目指す 健康障害をもつ対象を理解し状態に応じた看護を学ぶ
成人看護	210	健康障害をもつ成人の特徴を理解し、日常生活の援助と診療の補助について学ぶ
老年看護		老年期にある対象の特徴を理解し、老化に応じた看護、健康障害を持つ老人とその家族に対する看護を習得する
母子看護	70	出産前後にある母児及び健康障害を持つ小児の特徴を理解し、日常生活の援助と診療の援助を学ぶ
精神看護	70	精神の健康の保持増進と精神に問題のある人の特徴を理解し、日常生活の援助と診療の援助を学ぶ
臨地実習 基礎看護 成人看護 老年看護 母子看護 精神看護	735 (210) (385) (70) (70)	看護の対象の理解をし、各科目で学習した療養上の世話と診療の補助を体験する 自身の行なった看護実践を振り返り、安全・安楽な看護について考え実践する姿勢を養う チームにおける准看護師の役割や責任を意識しながら援助を行う視点を養う 在宅などの多様な場における対象者の療養生活を学ぶ

科目	時間数	教育目標	教育内容	設定理由	
基礎分野	論理的思考の基盤	35	コミュニケーションの基礎となる読解力及び、表現力を養う	<ul style="list-style-type: none"> ◆文章の使い分け ◆敬語表現・明快な表現等 ◆発表を中心に基礎力を養う ◆文章作成により、表現力・論理的思考を養う 	豊かで健やかな心の成長を促し、看護に必要な理解する力、相手の気持ちを想像して思いやる思考力、多様な場面で求められる判断力と表現力を養う また、自分の看護に対する考えをまとめるための論理的思考を習得する
	人間の生活・社会	25	社会環境の変化に伴い、保健・医療・福祉がどのように変遷したのかを知ることで、その役割の重要性を知り、問題点を考えることができる	<ul style="list-style-type: none"> ◆歴史の流れから社会環境の変化と人の生活の変化 ◆社会の変化と保健医療・福祉について ◆保健・医療・福祉の仕組みと役割 ◆現代に於いて保健医療・福祉が抱える問題点について話し合う 	人間を生活体と捉え、生活していくうえで切り離せない衣・食・住・家族・社会・福祉・環境が人に与える影響を学び、保健・医療・福祉の役割と重要性を理解することができる また、問題点についても考えることができる
		10	情報の収集、整理を行い、看護に役立てることができる	<ul style="list-style-type: none"> ◆情報通信技術の基礎的知識 ◆情報機器に関する基礎知識 ◆看護に役立つ情報機器の操作方法 	情報社会である現代、自分達に必要な情報を取捨選択し、それを適切に看護に活用することを学ぶ また、情報機器を使用することで、幅広い人間性と、豊かな感性を養う事を目指す そして、あらゆる事に興味を持ち常に学ぶ姿勢を身に付けることができる

科目	時間数	教育目標	教育内容	設定理由
専門基礎分野	人体の仕組みと働き	60	<ul style="list-style-type: none"> ◆総論 ◆人体の構成 ◆人体の器官系 ◆体液 ◆循環器系 ◆呼吸器系 ◆消化器系 ◆泌尿器生殖系 ◆内分泌系 ◆上肢下肢の構成 	医療・看護の基礎知識として必要な人体の仕組みと働きについて、解剖学・生理学を通して、体の構造と機能を系統的に理解する 生命維持がどのように行われているのかを学ぶ
		40	<ul style="list-style-type: none"> ◆運動系 ◆神経系 	
		5	<ul style="list-style-type: none"> ◆体温 ◆感覚器系 	
	栄養	35	<ul style="list-style-type: none"> ◆食生活と栄養の意義 ◆食生活について ◆食事摂取基準 ◆栄養とその代謝 ◆病院食 ◆食事療法 ◆特殊栄養療法 	生命を維持するために欠かせない食生活と栄養について学ぶ 健康的な食生活と健康障害時の栄養について学び、各疾患患者の療養食の特徴についても学ぶ

科目	時間数	教育目標	教育内容	設定理由
薬理 専門基礎分野	36	<ul style="list-style-type: none"> ・薬理作用、体内動態を説明できる ・薬物効果に影響する因子を列挙できる ・薬物に関する法律を述べる ・添付文書を正しく読むことが出来る 	<ul style="list-style-type: none"> ◆薬に関する基礎知識 ◆医薬品の適正な使用に必要な基礎知識 ◆神経系に作用する薬物 ◆代謝内分泌に作用する薬物 ◆炎症・アレルギー・免疫に作用する薬物 ◆循環器系に作用する薬物 ◆血液・造血器官に作用する薬物 ◆循環器系に作用する薬物 ◆血液・造血器官に作用する薬物薬物 ◆呼吸器系に作用する薬物 ◆消化器系に作用する薬物 ◆泌尿・生殖系に作用する薬物 ◆抗感染症薬 ◆消毒薬 ◆抗悪性腫瘍薬 	<p>疾患を治療するうえで欠かせない薬の特徴や作用機序、副作用を理解し、薬物が生体に及ぼす影響や取り扱い方を学ぶ また、医療事故を起こさないための防止策を学ぶ</p>
	22	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な薬物投与量を計算できるようにする ・患者のアドヒアランスに影響を及ぼす因子を説明できる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆安全な与薬に必要な知識 ◆脳神経疾患 ◆代謝・内分泌疾患 ◆膠原病・感染症 ◆循環器疾患 ◆血液造血器疾患 ◆呼吸器疾患 ◆消化器疾患 ◆腎泌尿器疾患 ◆女性生殖器疾患 ◆悪性腫瘍 	
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国内の薬物をめぐる医療事故の概要と組織・個人での防御策について説明できる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆薬物に関する医療事故 ◆病院内で起こりやすい事故と防止策 ◆外来・在宅で起こりやすい事故と防止策 	

科目	時間数	教育目標	教育内容	設定理由	
専門基礎分野	疾病の成り立ち	70	・対象者の疾患の原理身体的状況、経過を関係づける	<ul style="list-style-type: none"> ◆疾病の成り立ち ◆病気の種類とその要因 ◆先天異常 ◆退行性病変と進行性病変 ◆循環障害 ◆炎症 ◆腫瘍 ◆免疫 ◆呼吸器疾患 ◆循環器疾患 ◆消化器疾患 ◆血液・造血器疾患 ◆内分泌・代謝疾患 ◆腎・泌尿器疾患 ◆脳神経疾患 ◆女性生殖器・乳腺疾患 ◆運動器疾患 ◆感覚器疾患 	疾病発生の原因、経過、生体の反応についての基本的な知識を得る また、感染症と病原微生物との関係、および感染防止の対処方法について、基本的な知識を得る そして、臓器、器官別に、疾病の病態を学ぶ
		35	・環境が健康に及ぼす影響と予防策について	<ul style="list-style-type: none"> ◆感染と予防 ◆感染と病原微生物 ◆臨床病理検査 	
	保健医療福祉の仕組み・看護と法律	8	医療、公衆衛生、社会福祉の仕組みを学び、多角的な視点から准看護師としての役割を述べる	<ul style="list-style-type: none"> ◆現代医療とヘルスケア ◆現代医療の仕組み ◆現代医療の倫理 ◆現代社会における社会福祉の意味 ◆社会福祉の発展 ◆社会福祉と援助とソーシャルワーク ◆社会保険と関連制度 ◆これからの社会福祉 	保健医療福祉制度の全体像を把握し、准看護師との関わりを理解する
		12		<ul style="list-style-type: none"> ◆公衆衛生とは ◆環境と生体 ◆疾病の予防 ◆人口と衛生統計 ◆保健活動 	
		15	・准看護師の業務を法令に基づいて理解するとともに、その役割と機能を説明する ・保健師・助産師・看護師法をはじめとする保健医療提供体制に関する法規を中心に、我が国の医療・看護に関わる法規と、それらに関連する制度について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ◆なぜ法律や制度を学ぶのか ◆生活者の健康に関する法規 ◆保健医療提供体制に関連する法規 ◆保健衛生対策に関連する法規 ◆医薬品・医療機器に関する法規 ◆保険・福祉等に関する法規 ◆雇用・労働に関連する法規 ◆生活衛生・環境保全に関する法規 	

科目	時間数	教育目標	教育内容	設定理由
専門分野 基礎看護 看護概論	50	<ul style="list-style-type: none"> ・看護の概念について各看護理論家の考えを基に説明できる ・看護の対象の成長、発達について、段階を追って述べられる ・ライフサイクル、治療、療養の場、それぞれから患者の心理のポイントをまとめられる ・WHO の健康の定義を述べられる ・様々な場における看護活動の違いを説明できる ・実習病院の組織を調べてみる ・事故発生のメカニズムから対策を関連づける ・職業としての看護の役割と業務を整理できる ・保健・医療・福祉における看護の役割を説明できる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆看護のとらえ方 ◆対象の理解 ◆患者心理の理解とその必要性 ◆健康の概念 ◆看護活動 ◆病院組織と看護体制 ◆医療安全と看護 ◆職業と看護 ◆健康を守る保健医療福祉の仕組みと健康 	<p>准看護師を目指す者にとって基盤となる主要概念である、人間・環境・健康・看護について学ぶ</p> <p>また、看護の本質・看護とは何か、どのような方向に発展しているのかを考える力を養う</p> <p>そして、専門職として看護実践の基盤となる看護観を養う</p>
	20	<ul style="list-style-type: none"> ・看護における倫理原則をまとめてみる ・医療現場で求められる看護師の倫理を話し合う ・事例から倫理上の問題の解決方法を話し合い、自分なりの解決を考える ・看護の変遷を年代ごとに整理してみる ・今後の看護の課題と展望を記述する 	<ul style="list-style-type: none"> ◆看護に求められる倫理 ◆看護の場で生じやすい倫理上の問題とその対応 ◆看護の変遷 	

科目	時間数	教育目標	教育内容	設定理由
基礎看護 基礎看護技術 専門分野	42	<ul style="list-style-type: none"> ・看護技術提供における観察項目を述べることができる ・バイタルサイン測定を学内でおこなえる ・記録と報告に必要な情報を説明できる ・看護過程の考えを述べることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆観察 ◆バイタルサイン ◆身体各部の計測 ◆記録と報告 ◆看護過程 	准看護師の看護提供の基本となる技術の手技を学び、対象の状況や希望に応じた個別性のある技術提供を考慮することができる そして、看護師どうし、また、他職種への記録と報告の方法を学び、准看護師としての役割を果たす
	94	<ul style="list-style-type: none"> ・環境調整の意義を具体的に説明できる ・様々な場における事故防止対策を列挙できる ・感染予防技術である手洗い、手指消毒が行える ・体位変換におけるボディメカニクスの重要性を説明できる ・移動・位相の援助方法を行える ・衣生活の援助を行える ・食生活の援助を行える ・排泄の援助方法に手順を行える ・清潔の援助の意義と方法を理解する ・活動と休息の意義を説明できる ・褥瘡予防とケアを学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆日常生活に対する援助 ◆環境調整の技術 ◆事故防止のための技術 ◆感染予防の技術 ◆姿勢と動作 ◆体位変換の援助の実際 ◆移動・移送の援助 ◆衣生活の援助 ◆食生活の援助 ◆排泄の援助 ◆清潔の援助 ◆活動と休息のための援助 ◆安静 ◆睡眠 ◆褥瘡の予防 	患者の心理を学び、看護の思考方法である看護過程の考え方を学ぶ
	74	<ul style="list-style-type: none"> ・主な検査内容を説明できる ・画像診断の検査法を種類別に分類できる ・予防の方法を剤型に伴って整理できる ・輸血、経管栄養法中心静脈栄養法の説明が出来る ・電法を行える ・浣腸、導尿、洗浄、穿刺、吸引、吸入がどのような場面で必要か説明できる ・看取りケアの流れをまとめられる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆診察 ◆主な検査 ◆画像診断のための各種検査法 ◆与薬 ◆輸血 ◆経管栄養 ◆中心静脈栄養 ◆電法 ◆浣腸 ◆導尿 ◆穿刺 ◆吸引 ◆吸入 ◆創傷管理と包帯法 ◆診察・処置に用いられる物品の種類と取り扱い方 ◆看取りのケア 	

科目	時間数	教育目標	教育内容	設定理由	
専門分野	基礎看護 基礎看護技術	35	<ul style="list-style-type: none"> ・経過から患者の心理の特徴を域に分けて説明できる ・治療を受ける患者の心理を記述できる ・療養の場ごとに患者の心理の変化を説明できる ・医療従事者の心理的問題と対応を具体的に述べられる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆患者の心理の理解と看護人の心理と心の健康 ◆患者の心理の理解と支援 ◆経過別に見た患者の真理の特徴 ◆治療を受ける患者の心理 ◆療養の場から見た患者の心理 ◆医療従事者の心理 	
	基礎看護 ・臨床看護概論	70	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床看護の場のそれぞれの特徴を説明できる ・患者と家族への看護のポイントをまとめる ・疾病の経過における患者と看護のポイントを経過ごとに分類できる・主な症状の患者の特徴と生活への影響を記述できる ・治療・処置の特徴を理解し、それらを受ける患者の看護のポイントを説明できる ・治療・処置の基礎となる医学的知識を説明できる ・地域・在宅といった多様な場への継続看護とそれらの場における看護を説明できる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆臨床看護の特徴 ◆臨床看護活動と患者家族の理解 ◆健康障害の経過に伴う看護 ◆主な症状に対する看護 ◆治療処置に伴う看護 ◆継続看護と多様な場における看護 	<p>様々な健康課題を持つ患者への基本的な看護を学ぶ また、臨床看護に必要な知識・技術を統合して応用するプロセスを学習する そして、患者と家族への看護を学び臨床から在宅といった多様な場への継続看護と、それぞれの場における看護を学習する</p>

科目	時間数	教育目標	教育内容	設定理由	
専門分野	成人看護	175	<ul style="list-style-type: none"> ・「エリクソンの発達課題」「ハヴィガーストの発達課題」それぞれの発達段階と課題を説明できる ・立案された看護計画に基づき、心身の苦痛の緩和および日常生活の自立、自律に向けた療養生活に対応する ・合併症予防のために必要な看護を述べる ・実施する看護の目的・方法について対象者の理解度を確認しながら説明する ・立案された看護計画に基づき、心身の苦痛の緩和および日常生活の自立、自律に向けた療養生活に対応する ・合併症予防のために必要な看護を述べる・実施する看護の目的、方法について対象者の理解度を確認しながら説明する ・対象者の状態の変化について迅速に報告する ・立案された看護計画に基づき、心身の苦痛の緩和および日常生活の自立、自律に向けた療養生活に対応する ・合併症予防のために必要な看護を述べる ・実施する看護の目的、方法について対象者の理解度を確認しながら説明する ・対象者の状態の変化について迅速に報告する 	<ul style="list-style-type: none"> ◆成人看護概論 ◆呼吸器疾患患者の看護 ◆循環器疾患患者の看護 ◆消化器疾患患者の看護 ◆血液・造血器患者の看護 ◆内分泌代謝疾患患者の看護 ◆腎・泌尿器疾患患者の看護 ◆脳神経疾患患者の看護 ◆アレルギー疾患・膠原病疾患患者の看護 ◆感染症・結核患者の看護 ◆女性生殖器疾患患者の看護 ◆骨・関節・筋疾患患者の看護 ◆皮膚疾患患者の看護◆眼疾患患者の看護 ◆耳鼻咽喉疾患患者の看護 ◆歯・口腔疾患患者の看護 	<p>身体の構造と機能、主な症状と病態生理、検査について学び、主な疾患の病態、症状、検査、診断、治療に関連づけて学ぶ</p> <p>それらを、成人期の患者の看護に結びつけて理解する</p>
	老年看護	35	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の身体的・心理的・社会的特徴を具体的に説明できる ・高齢者の現状を、様々な社会指標に基づいて理解し、高齢者のための保健・医療・福祉サービスを選択できる ・高齢者やその家族に関心に向け、観察コミュニケーション技術を活用できる ・高齢者やその家族に健康障害の特徴や疾病の段階・経過を理解し、対象のニーズに応じた日常生活の援助や看護技術を提供できる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆高齢者とは何か ◆高齢社会の医療と看護 ◆高齢者看護の原則 ◆日常生活の自立に対する援助 ◆日常生活における援助技術 ◆高齢者に多い疾患と看護 	<p>高齢者の身体的、心理的、社会的な特徴を理解し、健康障害を持つ高齢者の日常生活の援助および診療時の援助について学ぶ</p> <p>また、高齢者に多い疾患の特徴を捉え、看護ができる基礎的能力を養う</p>

科目	時間数	教育目標	教育内容	設定理由	
専門分野	母子看護	35	<ul style="list-style-type: none"> 母子の特性を理解し、対象に応じた看護ができる 母子保健の概要を理解し、説明できる 妊婦、産褥婦、新生児の特徴を述べることができる 正常な妊婦、産褥婦、新生児の特徴を列挙することができる 妊婦、分娩、産褥時の異常について、その異常がどのようなものか説明できる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆母性看護概論 ◆母性看護概論 ◆妊婦、産婦、褥婦および新生児の看護 ◆正常な妊婦、産婦、褥婦および新生児の理解 ◆正常な妊婦、産婦、褥婦および新生児にみられる異常 	妊婦、産褥婦、新生児の日常生活の援助と診療の補助について理解し、妊娠、分娩、産褥の生理と異常についても学ぶそして、母子の特性を理解し、対象に応じた看護を学ぶ
		35	<ul style="list-style-type: none"> 小児各期の成長・発達の特徴を列挙することができる 小児看護に必要な看護技術を行うことができる 小児疾患の特徴を理解し、健康障害を持つ小児に対し、日常生活の援助や診療の補助が出来る 	<ul style="list-style-type: none"> ◆小児の看護概論 ◆小児の多様な場に於ける看護 ◆小児疾患患者に必要な看護技術 ◆主な小児疾患患者の看護 ◆主な小児疾患 	小児の成長・発達について学び、小児の多様な場における、特殊技術を含む看護について学ぶ 先天性異常や小児期に生じる疾患の特徴を系統臓器別に理解し、それらの疾患への看護の特徴を理解する
	精神看護	70	<ul style="list-style-type: none"> 心の健康、成長、発達について説明できる 心の健康、成長、心の働きと危機について説明できる 精神保健福祉の現状と課題について列挙できる 精神疾患の患者数や近年の動向について説明できる 精神疾患の患者数や精神障害の特徴と疾患の症状、および治療、処置など基本的知識について説明できる 精神障害における経過とその看護について説明できる 精神科看護の場とその看護について説明できる 精神障害者の主要症状とその看護および診察・検査の援助方法について説明できる 精神科看護におけるコミュニケーションの取り方、アセスメント、記録の方法など、精神障害者の日常生活の援助に必要な実践技術を実施できる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆精神看護のとらえ方 ◆心の健康と発達 ◆心の働きと危機 ◆精神保健福祉の変遷 ◆精神保健福祉対策 ◆精神的健康の保持 ◆精神障害者の診察 ◆主な精神障害の治療 ◆精神障害者の看護 	人間の心の成長・発達・社会適応の面からとらえ、心の健康の保持増進について学ぶまた、精神健康に障害のある対象者への理解を深め、健康回復のための日常生活の援助および診療に伴う援助に必要な基本的知識・技術・態度を身につける 人を多様性を持つ1人の人間として捉え、尊重できる態度を育成し、人としての尊厳や生命の尊さについて考えることができる